



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 松田産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7456 URL <https://www.matsuda-sangyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CSR・IR部長 (氏名) 田中 善則 (TEL) 03-5381-0728
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	477,927	37.1	14,969	37.9	15,804	37.3	11,124	37.6
2025年3月期第3四半期	348,657	28.5	10,856	51.2	11,513	44.6	8,086	51.3
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期	7,779百万円(△16.1%)		2025年3月期第3四半期		9,269百万円(34.9%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 錢	円 錢
2026年3月期第3四半期	429.85	—	—
2025年3月期第3四半期	311.99	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	206,328		105,288		50.8	
2025年3月期	168,900		100,134		59.1	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 104,716百万円 2025年3月期 99,742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 錢 —	円 錢 35.00	円 錢 —	円 錢 40.00	円 錢 75.00
2026年3月期	—	50.00	—		
2026年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 錢	
通期	650,000	38.6	20,000	57.8	21,000	55.3	14,700	55.4	568.84	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日（2026年2月13日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	26,908,581株	2025年3月期	26,908,581株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	1,066,665株	2025年3月期	991,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	25,880,490株	2025年3月期 3Q	25,917,210株

※当社は、当連結会計期間より株式報酬制度「役員報酬BIP信託」を導入しております。期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式（2026年3月期 3Q 75,200株、2025年3月期 一株）を含めております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢の改善や賃上げの進展に伴う所得環境の緩やかな回復基調が続いたものの、米国の通商政策への懸念や地政学リスクの長期化を背景に、世界的な景気の先行き不透明感が一段と強まりました。国内景気も、原材料価格の高騰や円安の影響による物価上昇が継続しており、これに伴う実質賃金の伸び悩みから、個人消費は力強さを欠く状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業においては、資源リサイクルの総合力及び高機能電子材料の開発などによる差別化のもとで、国内外における生産拠点の整備・活用を推進し、貴金属原料の安定的な確保、製商品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組みました。また、食品関連事業においては、グローバルな調達網を最大限に活用して、多様化する顧客ニーズに応えた商品の開拓と安全安心な商品の安定提供により、販売量の拡大に取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高477,927百万円（前年同四半期比37.1%増）、営業利益14,969百万円（前年同四半期比37.9%増）、経常利益15,804百万円（前年同四半期比37.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益11,124百万円（前年同四半期比37.6%増）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

貴金属関連事業

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界の電子デバイス分野は、EV向けは生産停滞が続いた一方で、AIサーバーやデータセンター向けの旺盛な需要が全体を牽引し、半導体・電子部品等の生産は総じて緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の中で、当事業においては、宝飾分野を含めた貴金属リサイクル取扱量の増加に加え、貴金属相場の大幅な上昇が影響し、売上高及び営業利益は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当事業の売上高は386,734百万円（前年同四半期比45.3%増）、営業利益は12,243百万円（前年同四半期比39.9%増）となりました。

食品関連事業

当事業の主力顧客である食品製造業界は、原材料価格の高騰を背景とした物価高により、個人消費における節約志向が一段と強まり、総じて慎重な購買姿勢が継続する市場環境となりました。

このような状況の中で、当事業においては、消費ニーズの変化に即した機動的な商品提案と安定供給体制の構築に努めた結果、水産品の販売量は減少しましたが、畜産品、農産品の販売量は増加し、販売価格も上昇したことから、売上高及び営業利益は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は91,227百万円（前年同四半期比10.6%増）、営業利益は2,726百万円（前年同四半期比29.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ37,428百万円増加し、206,328百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金と棚卸資産の増加によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ32,273百万円増加し、101,039百万円となりました。これは主として買掛金、短期借入金、長期借入金及びその他流動負債の増加によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ5,154百万円増加し、105,288百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加と繰延ヘッジ損益の減少との差引によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ380百万円減少し、11,048百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動により減少した資金は14,057百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益、減価償却費並びに仕入債務の増加による資金の増加と、売上債権、棚卸資産の増加及び法人税等の支払いによる資金の減少との差引によるものです。なお、前年同四半期の2,573百万円の資金の増加に比べ16,631百万円減少しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は2,597百万円となりました。これは主として工場設備新設等の有形固定資産の取得による資金の減少と、定期預金の払戻しによる資金の増加との差引によるものです。なお、前年同四半期の3,603百万円の支出に比べ1,005百万円の支出減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動により増加した資金は16,457百万円となりました。これは主として短期借入金及び長期借入金の増加による資金の増加と、配当金の支払いによる資金の減少との差引によるものです。なお、前年同四半期の524百万円の資金の増加に比べ15,932百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（2026年2月13日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,878	11,367
受取手形及び売掛金	34,088	48,212
商品及び製品	34,344	41,401
仕掛品	999	824
原材料及び貯蔵品	25,610	36,663
未収入金	1,413	3,059
その他	6,802	8,086
貸倒引当金	△14	△9
流動資産合計	116,124	149,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,120	22,435
減価償却累計額	△8,242	△8,663
建物及び構築物（純額）	12,878	13,772
機械装置及び運搬具	20,299	20,934
減価償却累計額	△15,407	△16,263
機械装置及び運搬具（純額）	4,892	4,671
土地	17,027	17,021
リース資産	1,637	1,669
減価償却累計額	△979	△1,088
リース資産（純額）	658	580
建設仮勘定	2,079	2,806
その他	1,927	1,825
減価償却累計額	△1,605	△1,473
その他（純額）	322	351
有形固定資産合計	37,858	39,204
無形固定資産		
その他	3,028	2,952
無形固定資産合計	3,028	2,952
投資その他の資産		
投資有価証券	7,894	9,313
繰延税金資産	445	1,879
その他	3,619	3,456
減価償却累計額	△49	△64
その他（純額）	3,569	3,392
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	11,889	14,565
固定資産合計	52,775	56,722
資産合計	168,900	206,328

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,176	21,893
短期借入金	11,542	25,239
1年内返済予定の長期借入金	4,108	5,343
リース債務	228	258
未払法人税等	2,796	2,470
賞与引当金	1,238	641
未払金	994	1,907
前受金	7,666	8,335
その他	3,860	9,768
流動負債合計	48,613	75,858
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	17,047	21,987
リース債務	446	339
繰延税金負債	62	10
役員退職慰労引当金	795	—
執行役員退職慰労引当金	30	—
役員株式給付引当金	—	26
退職給付に係る負債	1,510	1,466
その他	159	1,250
固定負債合計	20,152	25,181
負債合計	68,765	101,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	89,565	98,357
自己株式	△1,396	△1,688
株主資本合計	95,737	104,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	818	1,316
繰延ヘッジ損益	△900	△4,735
為替換算調整勘定	3,960	3,788
退職給付に係る調整累計額	125	111
その他の包括利益累計額合計	4,005	479
非支配株主持分	391	572
純資産合計	100,134	105,288
負債純資産合計	168,900	206,328

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	348,657	477,927
売上原価	320,975	444,076
売上総利益	27,681	33,851
販売費及び一般管理費	16,824	18,882
営業利益	10,856	14,969
営業外収益		
受取利息	11	15
受取配当金	34	39
持分法による投資利益	857	974
為替差益	—	55
その他	141	226
営業外収益合計	1,044	1,311
営業外費用		
支払利息	257	402
為替差損	72	—
その他	57	73
営業外費用合計	386	475
経常利益	11,513	15,804
税金等調整前四半期純利益	11,513	15,804
法人税、住民税及び事業税	3,256	4,422
法人税等調整額	145	73
法人税等合計	3,402	4,495
四半期純利益	8,111	11,309
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	184
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,086	11,124

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	8,111	11,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	497
繰延ヘッジ損益	431	△3,844
為替換算調整勘定	443	△209
退職給付に係る調整額	185	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	39	44
その他の包括利益合計	1,158	△3,530
四半期包括利益	9,269	7,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,240	7,598
非支配株主に係る四半期包括利益	29	180

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,513	15,804
減価償却費	2,095	2,664
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4	△4
賞与引当金の増減額（△は減少）	△456	△597
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	192	△82
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	13	△1
執行役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	8	1
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	—	26
受取利息及び受取配当金	△45	△55
支払利息	257	402
持分法による投資損益（△は益）	△857	△974
売上債権の増減額（△は増加）	△4,982	△14,166
未収入金の増減額（△は増加）	289	△1,647
棚卸資産の増減額（△は増加）	△10,091	△18,028
仕入債務の増減額（△は減少）	4,073	5,758
未払金の増減額（△は減少）	△417	818
その他	2,815	730
小計	4,412	△9,349
利息及び配当金の受取額	300	382
利息の支払額	△141	△275
法人税等の支払額	△1,999	△4,814
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,573	△14,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	62	1,383
有形固定資産の取得による支出	△3,197	△3,419
無形固定資産の取得による支出	△394	△440
その他	△72	△120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,603	△2,597
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△4,734	13,073
長期借入れによる収入	10,100	10,000
長期借入金の返済による支出	△2,969	△3,825
配当金の支払額	△1,684	△2,332
自己株式の取得による支出	△0	△292
その他	△186	△165
財務活動によるキャッシュ・フロー	524	16,457
現金及び現金同等物に係る換算差額	159	△182
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△345	△380
現金及び現金同等物の期首残高	14,449	11,428
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,103	11,048

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	266,224	82,432	348,657	—	348,657
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26	26	△26	—
計	266,224	82,459	348,683	△26	348,657
セグメント利益	8,751	2,105	10,856	—	10,856

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	386,734	91,193	477,927	—	477,927
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	34	34	△34	—
計	386,734	91,227	477,961	△34	477,927
セグメント利益	12,243	2,726	14,969	—	14,969

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。